







令和3年7月19日
総合政策局環境政策課

「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体が決定しました！

- 国土交通省では、「先導的グリーンインフラモデル形成支援」の重点支援団体として、グリーンインフラに取り組む地方公共団体4地域を決定しました。
- 重点支援団体に対しては、コンサルタントや専門家の派遣等を通じて、計画づくりや推進体制の構築等を支援し、官民連携によるグリーンインフラの実装を加速します。

○重点支援団体（応募順）

団体名	取組概要
いなべ市 (三重県)	<p>令和元年5月に、もともとの森林や地形を生かし、雨水などを利用したまちづくり拠点「にぎわいの森」を市役所内にオープン。支援を通じて、本施設のグリーンインフラ効果を検証した上で、市内への効果的かつ持続的な新規事業の展開を目指す。</p>  <p>「にぎわいの森」</p>
名古屋市 (愛知県)	<p>令和3年度から「都心の生きもの復活事業」と銘打ち、都心において事業者・市民団体等との協働により、生物多様性に配慮した緑化等を進め、生態系保全と普及啓発を目的としたグリーンインフラの導入手法を検証する。</p>  <p>生物多様性に配慮した植栽 (イメージ)</p>
札幌市 (北海道)	<p>平成22年度より雨水流出の抑制、水質浄化及び修景効果を有する雨水浸透型花壇などの「雨水浸透緑化」を試験的に導入。定量的な効果の検証、事業化までのロードマップの作成、推進体制の検討を通じて、都心における導入・事業化を目指す。</p>  <p>雨水浸透型花壇</p>
さいたま市 (埼玉県)	<p>官民が連携したエリアプラットフォームを構築するとともに、道路等を活用した街路沿道の緑化を実施し、滞在性の高い空間の創出を図る。グリーンインフラ導入による回遊性・滞在性の効果測定、民間企業等とのマッチングによる持続的な推進体制の構築を目指す。</p>  <p>街路沿道での植栽設置</p>

○添付資料

令和3年度パートナーシップによる先導的グリーンインフラモデル形成支援 概要

<問い合わせ先>
国土交通省総合政策局環境政策課 担当：和田、末原、大上
TEL：03-5253-8111（内線24331、24334）、03-5253-8262（直通） FAX：03-5253-1550